

Ja-Net

季刊ジャネット

スリーエーネットワーク

April 2024

No. 109



Contents

- 4 あちこち日本語ご紹介
フィリピン ダバオ
- 5 みんなの“日本語 View from the Other Side”
落語家らむ音
- 6 教材紹介
『日本語の会話授業のデザインと実践—基礎から発展へ—』
『日本語教師が知りたい 敬語と待遇コミュニケーション』
- 8 インフォメーション



火伏の虎舞

巻頭寄稿

「日系」を知ろう！

公益財団法人海外日系人協会

事務局長 土方陽美

日系って？

「あまり興味がないというかよくわかりませんので、すみません」

これは、私が知り合いに、国際日系デー・オンライントークショーの案内をした際の返信。

えっ…。何、この返信!?

思いもよらぬ書きぶりに、驚きととも

に軽いめまいさえ覚えた。「日系」に対する世間一般の感覚は、こういうものなのか…。

私が所属する海外日系人協会は、1967年創立。世界に400万人とも言われる海外日系人と日本の架け橋になるべく、各種交流、協力、連携事業を推進している。

日本人の海外移住

日本人が集団で初めて海外に移住したのは、今から150年以上も前の

1868年。ハワイのさとうきびプランテーションに従事する人々だった。この年は、日本が改元して明治元年になったことから、彼らは「元年者」と呼ばれる。その後、移住先は、アメリカ本土へと広がった。当時、アメリカは、経済的に大きく発展し労働力を必要としていたためである。しかし、1900年代初頭に日本人移民排斥運動が起こると、次の移住先は、ラテンアメリカ諸国へと変化していった。1908年から集団移住が始まったブラジルでは、現在、世界最大の日系社会を有する。

北中南米以外にも、世界各地に日系人は存在する。

たとえば東南アジア。戦前、新天

地を求めて移住した日本人が、現地の女性と結婚したものの、戦争の混乱によって、死亡または日本に強制送還されるなどして、2世である子どもが残されたフィリピンや、第二次世界大戦時に派兵され、戦後も在留した日本兵が現地で家庭を築き、今でもその子孫が残るインドネシアなどが挙げられる。

ヨーロッパでは、日本企業の元駐在員でそのまま現地に残った人々や、国際結婚のために移り住んだ人などが現地日系社会の中心的存在となっている。

このほかにも、多文化主義政策を取るオーストラリアや、第一次世界大戦後に日本の統治下におかれたパラオ、マーシャル、ミクロネシアなどにも、日系人が存在する。

さらに、忘れてはならないのが、日本国内にいる日系人である。1990年の入管法改正以来、多くの中南米日系人が就労のために日本にやってきて、定住または永住している。

海外日系人大会と海外日系人協会

これら全世界の日系人が一堂に会することができる場が、海外日系人大会である。実際には全世界・全地域から一度に日系人が集まることはないが、日本に滞在中の留学生や研修員を含め、例年、約20カ国から200名ほどの参加がある。

この大会が開かれるようになったのは、第二次世界大戦後の日本が非常に厳しい状況にあった中、米国の在留邦人・日系人の働きかけによって、粉ミルク等の食料や衣料等「ララ物資」



「1957年海外日系人親睦大会」のポスター



第59回海外日系人大会in Hawaii (2018年6月6日) オープニングのハワイアン・オリ(お祈り)



第20回海外日系人大会 (1979年5月16日) 皇太子殿下(現上皇陛下)によるおことば



国際日系デー・ロゴマーク：国際日系デーを制定した翌年、国際日系デー・ロゴコンテストを開催、本作品が最優秀賞に決定

(LARA = Licensed Agencies for Relief in Asia; アジア救援公認団体) と呼ばれる援助物資が日本に送られたことにさかのぼる。ララ物資は、1952年当時の価値で400億円を超え、そのうち、約20%にあたる80億円相当の物資を在留邦人・日系人が集めたと言われる。また、これを契機に米国のみならず、カナダや中南米諸国も支援活動を開始した。

この援助に対する感謝の念をexpressするため、国会議員が中心となって祭典を開催しようと声上がり、実現されたのが、「海外日系人親睦大会」(1957年)であった。本大会が第2回目から

「海外日系人大会」と改称され、現在でも継続開催されている。また、事務局を務めた団体が、途中で何度か名称を変え、現在の「海外日系人協会」となっている。

よって、今でも海外日系人協会の基幹事業は、海外日系人大会開催事業である。そして、東京で開催される大会では、毎回必ず皇室よりご臨席を賜り、外務大臣主催レセプション、衆参両院議長主催昼食会が催される。これも、当時の日系人への感謝の気持ちが受け継がれているからこそである。

戦後の苦しい時代を支えてくれた日系人 彼らのことを知ってほしい



第63回海外日系人
大会参加の留学生・
研修員たち



ララ物資記念碑：1946年に、ララ物資を積んだ最初の船が横浜に着き、それから6年間にわたって送り続けられた。昭和天皇と香淳皇后が、横浜のララ倉庫にお出ましになられたときに詠まれた歌がここに記されている。

元年者 150 周年記念大会と国際日系デー

2018 年、「元年者」から 150 周年に当たるこの年に、元年者の移住先ハワイで、第 59 回海外日系人大会が開催された。ハワイから始まった海外移住の歴史を振り返ると共に、世界の各国・地域へと広がっていった移住者の足跡と、先人達が遺してきた日系レガシーにスポットを当て、それらを日本と日系社会、また日系社会間の共有財産として新たな連携強化を図ることを目的とした。

そして、この大会の中で、元年者がハワイに上陸した 6 月 20 日を「国際日系デー」とすることが宣言された。

海外日系人協会では、少しでも多くの方に日系のことを知っていただくため、毎年この時期に、関連イベントを実施している。冒頭の一文は、私がその案内をした矢先に、戻ってきた返信だった。はっきり言ってショックである。

日本国内で日系人が在住する地域には偏りがある。よって、特段意識せ

ずに日系人と知人・友人関係になるようなところがあれば、日系人を全く見かけないというところもあるだろう。ちなみに、この「よくわかりませんので、すみません」の人は、静岡県富士市在住で、決して日系人が少ない地域ではない。本当は、こういう人にこそ、日系のことを知ってほしいのに…。

このような人たちに、どうアプローチをしていったらよいのか。これは、今の私たちの課題の一つと考えている。

本誌をご覧の皆様には、本年 6 月の国際日系デーイベントに是非、ご注目いただきたい。また、当協会が管理運営業務を担っている JICA 横浜海外移住資料館では、北中南米への日本人の海外移住の歴史や、現地の日系人の様子、今日までの日系人、日系社会の変化についてわかりやすく紹介している。機会があれば、是非、資料館にも足をお運びいただきたい。

日系人の受入れとこれからの日本

在日の日系人に関していえば、目下の話題は 4 世ビザの問題である。4 世ビザは、相手国で働きながら勉強できるワーキングホリデーを参考に作られたものである。このビザは、就労に制限がない 3 世までの定住者ビザと違って、年齢制限があり、一定程度の日本語能力が求められる。そのほかにも日本国内にサポーターが必要、家族の帯同不可等厳しい条件付きで、2018 年にスタートした。日系人にとって、

自分たちは歓迎されていないと思わせる内容である。結果として、年間 4,000 人という受入枠に対し、2022 年度末で在留者は 150 人にも満たない状況となっている。最近、この制度は 2 回目の改正がされて一部条件が緩和されたが、まだまだ日系人に快く受け止められるものではない。日本に関心を持ち、日本で自己の夢を実現したいと願う 4 世のために、是非、門戸を広げてほしいと思う。

少子高齢化による労働力の減少、ひいては国力の低下という危機的な状況が目の前に迫っている日本にとって、日系人は、世界最強の理解者と言えるのではないだろうか。それは、単に労働力だけを期待して言っているのではない。世界では、日本の治安の良さ、清潔さ、豊富な食文化、歴史や伝統、サブカルチャー等が高く評価されていて、日本人は親切で礼儀正しいと認識されている。その国に自身のルーツがある。親しみや憧れを持っていて、複雑な手続きがなくても、行きたいと思ったら行って滞在できる。日系人にとって、日本はそんな魅力的な国であり続けなければならないと思う。

まずはあなたのすぐ近くにいるかもしれない日系人のことを、もっと知っていませんか？



土方陽美
(Hijikata, Harumi)

公益財団法人海外日系人協会事務局長。立教大学卒業後、株式会社阪急交通社に入社。インターカ尔特日本語学校日本語教員養成研究所で日本語教育を学び、JICA 海外開発青年日本語教師としてブラジル国ミナス・ジェライス州パラカツへ派遣。帰国後、財団法人（現・公益財団法人）海外日系人協会へ入職。著作に、JICA 中南米西語圏年少者向け日本語教科書「にほんごドレミ」「にほんごジャンプ」「にほんごチャレンジ」、海外日系人協会中南米日系人向け初級日本語テキスト「にほんごみらい」「同2」「同3」(以上共著)など。

あちこち日本語ご紹介

フィリピン ダバオ

日本とフィリピン、両国の架け橋となる人材の育成を目指して

ミンダナオ国際大学学長

イネス・山之内・P・マリヤリ

フィリピン南部のミンダナオ島にあるフィリピン第三の都市、ダバオ。そこに私が学長を務めるミンダナオ国際大学があります。本学は日本人の血を引く日系人によって設立された大学です。本学の現在についてお話しする前に、まず設立の経緯からご説明します。

ダバオと日本人

ダバオは東南アジア最大の日本人移民社会が築かれた都市です。1903年に移住してきた日本人は現地人と結婚して家族を作りました。第二次世界大戦前2万人にも上ったダバオの日本人は、地域に13校もの尋常小学校を設立し、日本人の子どもたちはそこで日本人としての精神とアイデンティティを培いました。終戦後、日本人は本国へ強制送還され、その子どもたちである残された日系人は報復から逃れるため、日本人である父親との繋がりを出す持ち物を捨て、出自を隠すため改名し、山奥で生き延びてきたのです。

フィリピン日系人会による日本語教育の開始

1980年8月、ダバオ生まれの日本人を筆頭に多くの日本人の助言と支援

により、日系人の教育面・社会面・経済面での向上を目的として、日系人はフィリピン日系人会を立ち上げました。そして強い反日感情により教育を受けられなかった日系人を対象に毎週土曜日に日本語教育を開始します。戦争経験者の反日感情は根強いものでしたが、後に無料で開催される日本語の授業に興味を持ったフィリピン人も参加するようになり、そこでの教育を通して日本に対する興味、好感や友情を育み、日比の相互理解は大きく促進されました。これを礎として、1992年にはフィリピン日系人会国際学校が、2002年にはミンダナオ国際大学が誕生し、幼稚園から大学までの教育機関となりました。

日系人会国際学校における日本語教育

現在、幼稚園から高校までの教育を担うフィリピン日系人会国際学校の日本語教育では、子どもたちの成長段



毎年秋には、幼稚園から大学まで合同で、フィリピン・ジャパン・フェスティバルが行われ、日本文化も全員で体験する

階に合わせて教員が作成した独自の教科書を使用しています。更に中学校からは『みんなの日本語』や『いろどり』を併用、高校からは『まるごと』を使用し、日本語能力試験受験可能レベルまで日本語力を引き上げていきます。10ページほどの1章を1か月かけてじっくり教え込むことで No one left behind（誰も取り残さない）という国の教育方針も反映させています。習熟度別クラス編成を採用し、日本語の知識のない生徒から日本人生徒まで理解度に合わせた授業を行っています。

ミンダナオ国際大学における日本語教育

ミンダナオ国際大学では、全学科で2年間日本語を必修とし、国際学科では週4コマ、主に『みんなの日本語初級I・II』を使って授業を行っています。フィリピン人が文法を、日本人が応用練習や問題演習を担当し、日本語能力試験対策の授業も開講しています。文化の授業では座学だけでなく、七夕祭りや演劇活動の機会があるのも特徴です。日本語能力試験の共催を始め、地域に向けた日本語教育や日本文化の発信拠点としての活動もしています。

両教育機関では、日比両国の特色を取り入れた教育の提供、将来の日比の架け橋となる人材の育成を運営方針としています。近年ではフィリピン人が活躍できる分野が広がり、本学の卒業生もフィリピン国内にとどまらず日本で活躍する者も増えました。今後両国の架け橋となる人材を輩出すべく力を入れていきたいと思っています。

みんなの“日本語View from the Other Side”

このコラムでは、学習者や日本語に携わる方の視点から話題をお届けします



落語家らむ音 (茂木綾音)

神奈川県横浜市生まれ
武蔵野美術大学卒業、舞台女優をへて
2017年 らぶ平一門下となる
2022年 二つ目昇進
2023年 BSフジ『Zabu-1 グランプリ
2023』準優勝

illustration 内山洋見

3か国語落語で 夢を与えたい！

でわからないの？ そんなこともできないの？」とよく馬鹿にされ、「そうか私はバカなんだ」と勉強が苦手だと思うようになりました。

ユーモアの力を両親に学ぶ

運動会に両親が来てくれたとき、クラスメイトが両親の日本語を聞いて、ふざけて「なんで日本語が変なの？」と言ったことがありました。私はショックを受けてしまいましたが、父はその子たちに向かって「実はね…僕は宇宙人なんだ!」と言ったのです。それを聞いたクラスメイトは大盛り上がり。嫌な経験をユーモアに変えることを両親から学んだ、私にとって大切な思い出です。

周りの人たちに支えられて

ブラジルでは挨拶はハグとキスをするという文化がありますが、その挨拶を見られることが恥ずかしいと思ったこともあり。母に言うと、大切な人にハグとキスで挨拶することは、大切なブラジルの文化、恥ずかしいことでも何でもない、自信を持ちなさいと言われました。

ほかにも、言葉の壁や文化の壁、両親に向けられる差別的な態度に悩んだこともありましたが、友達に恵まれ、私を理解してくれる恩師とも出会うことができました。周りに支えられ、苦手な勉強も頑張り、無理と言われた武蔵野美術大学にも合格。楽しく充実した学生生活を過ごすことができました。

個性あふれる落語家として

大学卒業後舞台女優になりましたが、今の師匠の高座を見て、1人で何役も演じる落語に引き込まれ、この世界に入りました。今では日本語だけではなく、ポルトガル語、英語を使った落語や、サンバを踊ったり、自分の個性を活かして自由に表現しています。自由に伸び伸びとがモットーの師匠のもと、いろんな場面で多くの方に落語を聞いていただく機会も増えました。

多文化共生の活動

多文化共生の活動もしています。浜松市や群馬県大泉町で日系ブラジル人の小中高生に向けてポルトガル語で講演と落語、JICA日本語教師の方に向けた講演、多文化共生プロジェクト「Olá! 落語家らむ音カーニバル」、JICAサンパウロ支社の世界11ヵ国配信での落語、等々。自身の体験も交え、日本語も母国語も中途半端だと悩むより、複数の言語や文化を知っていることは得難い個性だから、自信をもって夢を叶えて!と話しています。

これからも挑戦し続けたい

私が落語家になると決めたとき、「日本語も間違えるし、文化も理解していないのにできるわけがない」と多くの人が否定的でした。そんな私が去年、若手落語家No. 1を決める大会BSフジ『Zabu-1 グランプリ2023』で準優勝になることができました。自由に落語を演じることについていろいろな意見をいただくこともありますが、これからの目標は、世界各地で落語をすること、「富士山の頂上で落語」「海潜って落語」「空で落語」と陸海空を制覇すること等々。これからもオンリーワン落語で挑戦をし続けていきたいと思っています。

日本語に苦労した幼少期

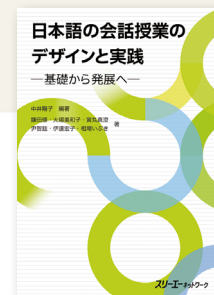
両親はサンパウロ生まれの日系ブラジル人。2～3年ほど出稼ぎをしようと日本に来ました。当時は日本語が話せず友達も知り合いもない、そんな中で私と2人の妹が生まれました。私たち姉妹の将来を考え、安全な日本で暮らすことを選び、在日35年になります。

家庭内ではずっとポルトガル語で会話をしていたので、5歳まで日本語が話せませんでした。小学校に入学しても先生の言葉が全く理解できず、授業についていけない日々。周りからは、「何

『日本語の会話授業のデザインと実践－基礎から発展へー』

中井陽子 編著 鎌田修・大場美和子・寅丸真澄・尹智鉉・伊達宏子・相場いぶき 著

A5判 247頁 1,980円(税込) 好評発売中



より豊かな会話授業をデザインして実践するために

東京外国語大学大学院国際日本学研究院教授

中井陽子

特徴・対象

日本語で会話ができるようになりたいと考える学習者に対して、様々な会話授業を提供するためのヒントについて多角的な観点からまとめました。

日本語教育学、日本語学の分野を学ぶ学部生・大学院生や、日本語教員養成課程・市民講座の受講生、現職日本語教師の方々などを対象に、会話授業のデザインと実践について、基本から応用まで学べるようになっています。

全体の構成と内容

本書の構成は、以下のようになっています。

第1部 会話教育の理論編：会話と会話能力とは何かを確認し、会話教育のための授業デザインと実践について述べています。また、会話能力の測定と評価、および会話教育に活かせる教育学の知見について紹介しています。

第2部 会話教育の基礎編：モデル会話や語彙・文型練習、ロールプレイのほか、教室内外で行うインタビュー活動や、会話交流活動について具体的な手順や方法を紹介しています。

第3部 会話練習活動の多様なデザイン：学習者の会話能力をバランス良く伸ばすために、様々な会話の形態を意識した練習活動を紹介しています。具体的には、コミュニケーションの基本的な機能、会話のフロー、談話技能を考慮に入れた会話練習活動です。

第4部 会話教育の発展：音声の学習・指導、ナラティブ、話し合い、アニメ・映画・テレビ番組・演劇を扱った活動のほか、問題解決型プロジェクト、外国人介護人材への

会話教育、オンラインで行う会話教育について紹介しています。

第5部 会話教育のための会話研究と実践：会話教育を行うために、自律的に研究と実践を連携させながら自己研鑽していける教師に必要とされることについて述べています。

プロジェクト① 会話授業を観察しよう！

プロジェクト② ロールプレイのフィードバックをしよう！

プロジェクト③ 会話授業をデザインしよう！

※付属教材(ワークシート、動画資料など)は、スリーエーネットワークのWEBサイトで公開中です。

各章の構成

まず、各章の最初にある「考えてみよう!」で、各章を読むために必要な前提知識を自身の経験と結び付けて思い起こします。次に、「本文」で、基礎的な理論や研究を押さえながら、具体的な会話教育の方法や活動例、教材例を確認していきます。これらをもとに、各章の最後にある「やってみよう!」で、会話教科書の分析や、会話教材・会話授業のアイデアを考えるタスクを行います。さらに、巻末には、本書で学んできたことの集大成として取り組むプロジェクトが3つ設けてあります。

以上のように、各章の課題を段階的に行っていくことにより、理論を踏まえた実践的な会話教育を行える力が身に付くことが期待できます。本書を通して、より豊かな会話授業が活発に生み出されていくとともに、今後の会話教育の研究と実践がより発展していくことを願います。

本書は『日本語教育叢書「つくる」会話教材を作る』(2010)の一部をもとに、最新の知見を加え、内容を大幅に改めました。

『日本語教師が知りたい 敬語と待遇コミュニケーション』

坂本 恵 著

A5判 132頁 1,320円(税込) 5月初旬発行予定



形だけではない、背景にある考え方を知らるために

東京外国語大学名誉教授

坂本 恵

本書は、敬語を含む丁寧な表現を「待遇コミュニケーション」という広い枠組みでとらえ日本語教育に役立てていくための基本的な考え方を紹介するものです。先日発行された『聞いて慣れよう日本語の敬語―場面で学ぶ日本語コミュニケーション―』の理論的な解説書にもなっています。

初級から必要な敬語教育

「敬語」の教育というと、初級の終わりの方の課で形の紹介をした後は、中級でも扱うのが難しいと考える方が多いかと思えます。

ある授業でのことです。初級の第一日目に、「私は〇〇です。国は△△です。(あなたの)お国は?」を練習しているとき、「相手の国は尊敬するが、自分の国は尊敬しない」と英語でつぶやいた学生がいました。

相手のもの、相手に属するものに「お」をつけて丁寧に表すことが相手を尊重することにつながる、という考え方は日本語母語話者ならたいていの人がわかると思いますし、中国や韓国といった東アジアの学生もそれほど違和感なく理解できるようで。しかし、それ以外の、特に欧米系の学習者には、敬語の言葉そのものだけでなく、その背景にある考え方や、習慣、表す方法などについても説明が必要であるように思えます。そして、そのことは初級の第一日目から必要な知識だと言えます。

敬語の背景にあるもの

例えば、入学式などの式典の場では言葉遣いだけでなく服装も態度もあらたまった、フォーマルなものになるといった知識も必要です。このことは日本語母語話者であれば当然

り前のことですが、全世界で共通の考え方ではありません。

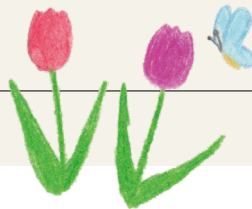
また、「依頼」の練習においては、誰に何を頼めるかの見極めが実は大切で、実際の依頼の表現と同時にそのような背景や方法についても考えておきたいものです。日本語の教師に作文の添削を頼むことはできますが、観光案内を頼むことはできません。作文の添削にしても、授業に関係することか、就職のためなど授業に関係のないことかによって依頼の仕方が異なります。依頼の表現を覚え、話の展開を練習するだけでは十分ではありません。

「敬語」は誰か、何かに対して配慮しているから使うのですが、その配慮は敬語を含む言葉遣いだけで表されるわけではありません。「敬語」を日本語の「配慮」の考え方に関する「待遇コミュニケーション」という大きなシステムの一部だと考えると、例にあげたようにいろいろなことが関係していることに気がつきます。学習者にはこの考え方や方法、日本語にある様々な約束事のようなものについても紹介しておくことが「敬語」の理解に役に立ちます。言い換えれば、学習者はそのようなことも知識として勉強しなければ、日本語を使いこなすことができないのです。

本書の目的

本書はこのような「待遇コミュニケーション」の世界の概観を示したものです。日本語の世界観を示し、具体的にどのような約束事があり、それをどのように表しているかについて考えることを目指しています。

そのほかに、敬語そのものについての解説、「依頼」や「ほめ」といった言語行動、日本語教育における敬語表現の扱い方についても解説しています。本書がみなさんの敬語、待遇コミュニケーションについての理解や教育現場に役立つことを願っています。



改訂版 日本語能力試験N2 模擬テスト〈2〉

990 円

好評発売中

日本語教師が知りたい 敬語と待遇コミュニケーション

1,320 円

5 月発行予定

日本語教師をめざす人のための スモールステップで学ぶ 音声

2,200 円

6 月発行予定

お知らせ

『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 翻訳・文法解説ネパール語版』発行と語彙訳販売終了のお知らせ

『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』に準拠した翻訳・文法解説書に、新たにネパール語が加わりました。

各課の「ことば」とその訳、文型・例文・会話の翻訳、その課の学習に役立つ参考語彙と日本事情に関する文法解説をネパール語で掲載しています。

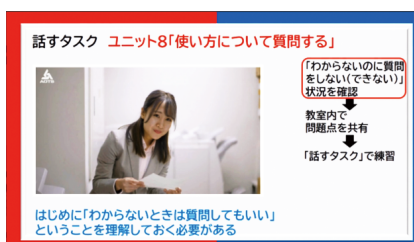
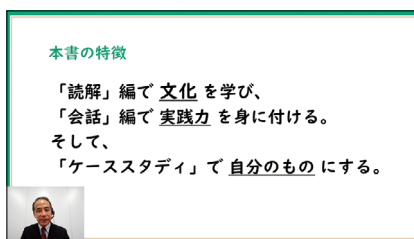
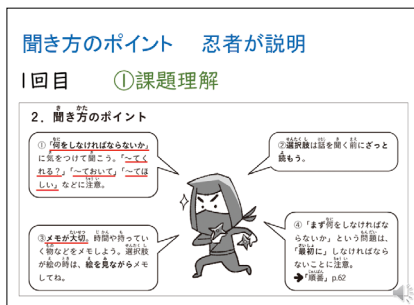
これにともない、現在発売中の『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 ネパール語語彙訳』（税込880円）は在庫がなくなり次第、販売終了となります。発売中の『みんなの日本語 初級 第2版 語彙訳』は、以下よりご確認いただけます。



「教材紹介動画」公開中

ウェブサイトから、好きな時に、どなたでも自由にご覧いただける「教材紹介動画」を公開しています。著者に教材の概要や授業での使い方などをお話しいただいています。

一つの動画は10～15分程度です。教材について知りたい方はもちろん、すでに教材を使ってくださっている方も、ぜひご覧ください。



「教材例」

- ・『JLPT 文字・語彙 N3 ポイント&プラクティス』
- ・『JLPT 聴解 N3 ポイント&プラクティス』
- ・『新完全マスター読解 日本語能力試験 N2』
- ・『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解』シリーズ
- ・『外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語 中級』
- ・『ゲンバの日本語 基礎編／応用編 働く外国人のための日本語コミュニケーション』
- ・『はじめて学ぶ介護の日本語 基本のことば』
- ・『絵本で教えるにほんご 外国につながるのがある児童のための授業づくり』



表紙のイラスト

「火伏の虎舞」は宮城県加美町におよそ650年前から伝わる伝統行事です。毎年4月29日、虎に扮した小中学生が太鼓や笛の囃子に合わせて舞い、防災と家内安全を祈願します。

季刊ジャネット

Ja-Net No.109

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2024 年 4 月 25 日発行

● 発行人 藤崎政子
● 発行所 (株)スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

<https://www.3anet.co.jp/>

● デザイン パーシック 畑中 猛

● イラスト 竹永絵里 (P.1, 8)

● 印刷 (株)マイナビサポート

© 2024 by 3A Corporation

Printed in Japan (禁無断転載)

「Ja-Net」をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。次号は2024年7月25日発行予定です。